

私は、政清会を代表しまして、認第 1 号令和 4 年度野田市一般会計から認第 7 号令和 4 年度野田市下水道事業会計までの各会計の決算認定について、賛成の立場で討論させていただきます。

今回、政清会では、市長が掲げるスローガン、元気で明るい家庭を築ける野田市の実現という視点から、各施策の決算内容について、分析・審査させていただきました。

まず、一般会計から申し上げます。

歳入合計額は、613 億 381 万 9,368 円、歳出合計額は、594 億 652 万 5,036 円、歳入から歳出を差し引いた残額は、18 億 9,729 万 4,332 円となっております。

歳入については、根幹となる市税が予算現額を約 5,700 万円上回る決算額となっており、コロナ禍の大変厳しい状況の中にもかかわらず、徴収率も向上しており、公平な税の負担に向けた徴収対策の取組の成果が見受けられたことを評価いたします。

市税の徴収率が 98.74%と 2 年連続で県内 3 位という非常に高い徴収率は、並大抵の努力では達成できない驚異的な数字ともいえ、物価高騰の苦しい中でも適切に納税している多くの市民のためにも、今後も引き続き、担税力のある滞納者と担税力のない滞納者のすみ分けを確実に実施し、どの家庭にとっても公平な納税となるよう努めていただくことをお願いいたします。

続きまして、歳出について申し上げます。

総務費では、令和 5 年度 4 月 1 日から船形多世代交流センターを開設されたほか、市職員による情報発信力強化事業や野田市応援ソングの製作など、元気で明るくなるような市民生活の向上を目指した事業が実施されたことを評価いたします。今後さらに、シティプロモーションに力を入れ、野田市のシティブランドの向上による移住・定住施策の充実をお図りいただき、人口増加による無理のない税収増加を目指していただくことを要望いたします。

次に、民生費では、のだしこども館 supported by kikkoman の開館、小学 6 年生までの医療費自己負担金の無料化及び中学生の自己負担金の引下げという子ども医療費助成など、子育て支援策の充実が図られたことを評価いたします。

また、新生児特別定額給付金、私立保育所等物価高騰対策支援補助金などの支給のほか、強度行動障害者グループホーム整備補助金、楽寿園の個室化改修工事など、細かなところまで目の行き届いた施策が実施されたことを評価いたします。

衛生費では、引き続き健康・スポーツポイント事業や不妊症・不育症治療費等助成が実施されたほか、農林水産業費では、農業人材育成事業、関宿落堀水質改善事業など、元気明るい家庭を築く一助となる各施策が実施されていること、商工費では、空き店舗解消に向けた空き店舗等活用補助金の対象の拡充のほか、商

品開発事業補助金が実施されており、競争が厳しい事業者のための支援が実施されたことを評価いたします。

土木費では、元気で明るい家庭を取り巻く環境の整備のため、連続立体交差事業及び関連事業の野田市駅西土地区画整理事業、梅郷駅西土地区画整理事業や六丁四反調整池整備事業などの各事業の進捗が図られ、消防費では、市民の生命と財産を守る消防団の分団器具置場1か所の新築工事のほか、救助工作車1台及び救急自動車1台が更新され、安心・安全なまちづくりに向けて整備が進められたことを評価いたします。

教育費では、岩木小学校ほか4校のトイレ様式化やG I G Aスクール構想に伴うI C T環境整備などの教育環境の整備のほか、学級事務支援員、サポートティーチャー、音楽専科教員、学校図書館司書の各種配置事業など、教育現場における教育の質の向上を図るような事業が引き続き実施されたことを評価いたします。

野田市の教育環境は、今後ますます施設の老朽化が進むとともに、出生率の低下に伴う学校の統廃合など、長寿命化によるファシリティーマネジメントによる対応だけでは厳しくなる状況が予想されます。

教育につきましては特に、どこに、どのような形で財源を投入するかで、30年、50年先に及ぼす影響が大きく異なる歳出でありますので、ぜひとも国や県の補助金をフル活用して、長期的な視点で最適解を求めながら、引き続き検討していただくことを要望いたします。

そのほか物価高騰対策として、児童手当上乘せ給付金、私立幼稚園物価高騰対策支援補助金、介護サービス事業所物価高騰対策支援金、肥料・飼料価格高騰対策補助金、貨物自動車運送事業者物価高騰対策支援金の支給など、迅速に実施されたことを評価いたします。

今後も引き続き、現金給付等の支援につきましては速やかで正確な支給と、支援があった業界、支援されなかった業界など、職種や業種で不公平感を感じさせることがないような明確な基準の下、適切な支援を実施していただくこと要望いたします。

このように令和4年度一般会計歳入歳出決算は、必要な一般財源の確保が極めて厳しい財政状況にありながらも、元気で明るい家庭を築ける野田市の実現に向けて、新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策を迅速かつ適切に実施しながら、子育て支援、教育環境の整備や安心安全なまちづくりに資する事業を予定どおりに実施し、適正な予算執行がなされていると評価いたします。

次に、国民健康保険特別会計について申し上げます。

令和4年度の国民健康保険料は、新型コロナウイルス感染症の蔓延や物価高騰という特殊な状況下にあることを考慮し、国民健康保険財政調整基金からの繰

入れを実施すること等で保険料を据え置かれたことを評価いたします。

しかしながら、令和5年度以降の保険料は、原則どおり、医療給付費等の推移や千葉県が示す事業納付金の額、そして標準保険料率に応じ、適切な時期に、適切な保険料の見直しを要望いたします。

そのほか、介護保険特別会計、次木親野井特定区画整理事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計についても、それぞれの目的に沿った適切な予算執行であったと認められ、全ての決算認定について賛成いたします。

なお、後期高齢者医療の保険料率は、診療報酬のマイナス改定や、10月から始まった一定以上の所得者の窓口2割負担の導入等により、結果的に保険料率を据え置くことができておりますが、今後さらに、被保険者が増加し、それに伴って医療給付費が増加していくことが確実な情勢であることから、国に対し、財政支援等を求めるような働きかけをしていただくよう要望いたします。

昨今の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しが続いております。しかしながら、ウクライナ情勢や、世界的な食糧・エネルギー価格の高騰、中国の不動産市場の不安定化など、予断を許さない状況であります。

今後ますます少子超高齢化が進み、日本全体の人口減少が加速する時代に入り、市税等の大幅な増収が見込めない中で、扶助費などの社会保障費が大幅に増加していくという未知の世界に突入いたします。

これまでとは異なる発想や意見、批判的とも受け取れるような視点についても先入観を取り除いて検討対象に加え、一丸となってベストを探し続ける挑戦をしていかなければならないのだろうと思っております。

ぜひとも当局におかれましては、引き続き大変厳しい財政状況下ではございますが、元気で明るい家庭を築ける野田市実現のため、ゼロベースでの事業見直しと、新たな財源確保に向けた検討を全庁挙げて取り組んでいただきますことを要望し、賛成討論といたします。